

京都検定講演会講師による公開テーマに関連する‘よもやま話’。しっかり学習を深め、京都検定合格を目指しましょう。

## 第18回 京都検定 3級公開テーマ

### 「魔界都市・京都～鬼や妖怪、伝説等～」

【講師】

山村 純也

株式会社らくたび  
代表取締役



#### ●源頼光と四天王

政治の中心であった京都では、勝者とともに多くの敗者が生まれ、無念の死を遂げた敗者は、怨霊となって都に災いをもたらすという考えが定着し、この災いこそが、京都を「魔界都市」と呼ぶ大きな原因となっていた。

怨霊を「悪」と見立てた場合、それらを退治する人物は「善」であり、英雄視され、後世に名を残すこととなる。

その代表的な人物が、源頼光と四天王であろう。源頼光は平安後期の源氏の有力武将で武勇に優れ、渡辺綱を筆頭にした頼光四天王などの強者の家臣に恵まれていた。

ある夜に病に臥せった頼光が夢の中で、枕元に立った怪しい法師を名刀膝切で斬り付けた、夢から覚めるとはたして血が点々と続いている。四天王達

がこれを追うと、その正体は巨大な土蜘蛛であり、渡辺綱が素早くこれを串刺しにし、鴨川の河原で干すと土蜘蛛は死に絶え、頼光の病はたちどころに治ったという。

また丹波国大江山で勢力を誇っていた鬼達は、朝廷に従わず、頭目は酒呑童子と呼ばれて恐れられていた。そこで頼光は家来と討伐を行い、見事に討ち果たした後に、酒呑童子の首を都へと持ち帰ろうとした。すると老ノ坂に差し掛かると急に酒呑童子の首が動かなくなったことから、その地に祠を建てて祀った。現在も首塚大明神とし

て山中にひっそりと佇んでいる。

魔界をテーマに扱う場合、その人物がなぜその力を持ち、行使するようになったか。その「ストーリーをしっかり把握する」ことが大事だ。大ヒットしたアニメ「鬼滅の刃」は、悪者である鬼にも鬼になった理由、家族的背景など、ストーリーが丁寧に描かれていることで、感情移入しやすく、親しみまで持てるようになった。京都検定『公式テキストブック』にもさまざまな伝説がその背景とともに紹介されている。ぜひ読み深めてもらいたい。



酒呑童子絵巻「頼光たちに斬られる酒呑童子」（日本の鬼の交流博物館 所蔵 福知山市教育委員会 提供）

## 2021年度 京都検定概要が決まりました！

### 第18回 京都検定

試験日 7月11日(日)

会場 京都市内の施設

公開テーマ

[3級] 魔界都市・京都 ～鬼や妖怪、伝説等～

※今年から、3級の試験を7月にも実施します[京都会場のみ]

### 第19回 京都検定

試験日 12月12日(日)

会場 京都市内・東京都内の施設

公開テーマ

[3級] 京を見守る銅像となった歴史人物

[2級] 京の通称寺

[1級] 京の名木

※京都検定では『公開テーマ』に関する問題が各級10問出題されます。

※「京都・観光文化検定試験」「京都検定」及びそのロゴマークは京都商工会議所の商標です。無断で使用することはできません。